

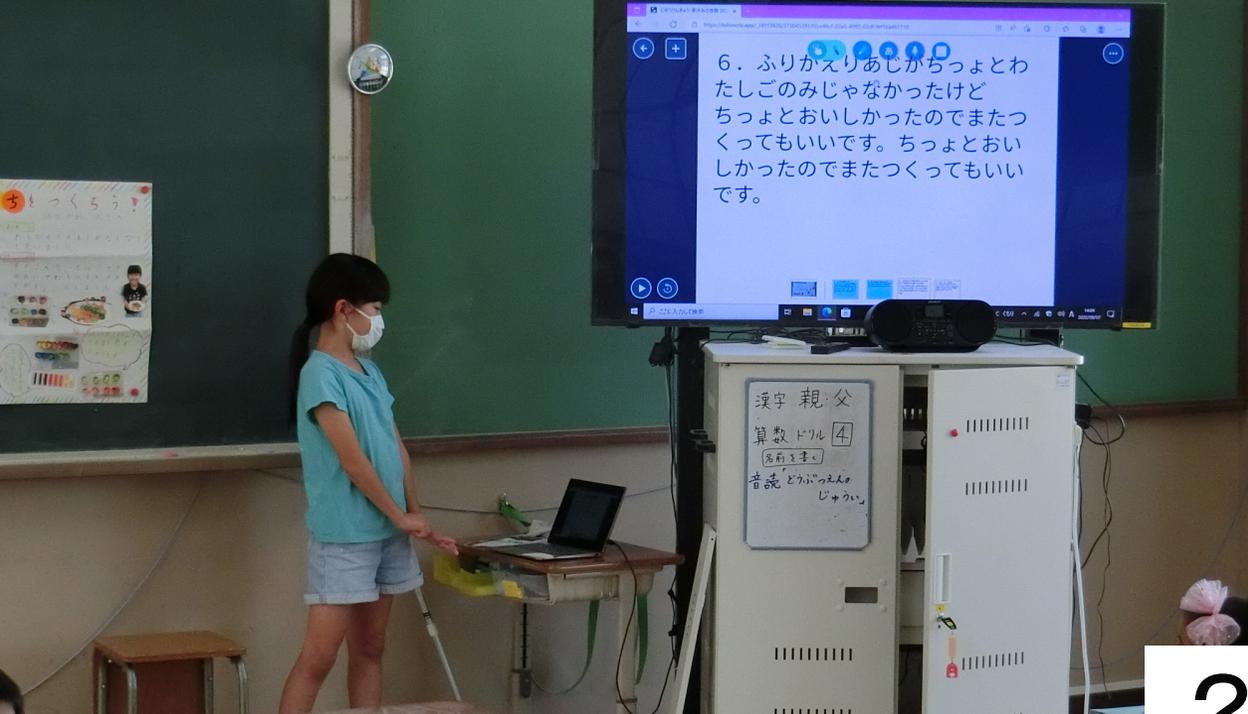
令和4年度 自由研究発表会の総括

1. 自由研究アンケートによる自己評価から
2. 相互評価による表現力における「話し方」「見せ方」の視点から



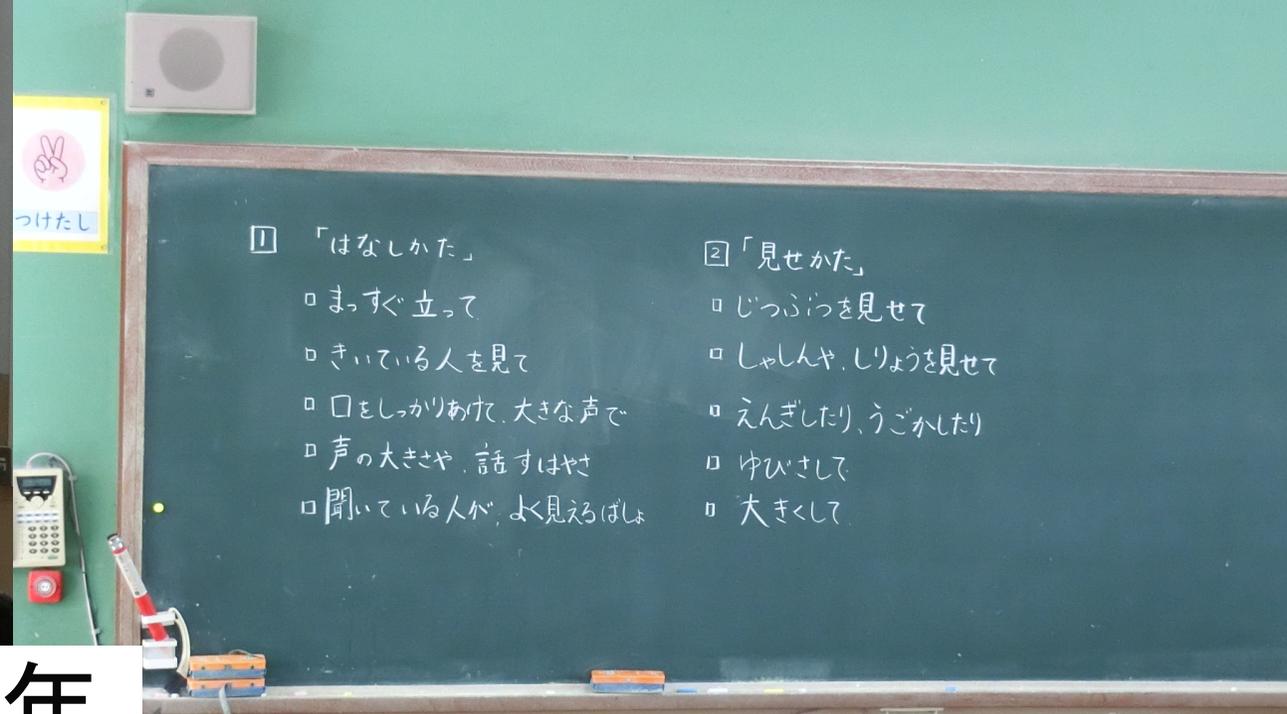
1年





6. ふりかえりあじがちょっとわたしごのみじゃなかったけど、ちっよとおしかったのでまたつくってもいいです。ちっよとおしかったのでまたつくってもいいです。

漢字親父
算数ドリル ④
音読 どうぶつえん
じゃかい



① 「はなしかた」
□ ますぐ立って
□ きいている人を見て
□ □もしっかりあて、大きな声で
□ 声の大きさや、言語すはせ
□ 聞いている人が、よく見えるばよ

② 「見せかた」
□ じつぶんを見せて
□ しゃしんや、しりょうを見せて
□ えんぎしたり、うごかしたり
□ ゆひさして
□ 大きくして

2年



じほうけんきゅう すごいねシート (2-2) 長谷川さん

- 100円
- 200円
- 300円
- 400円
- 500円



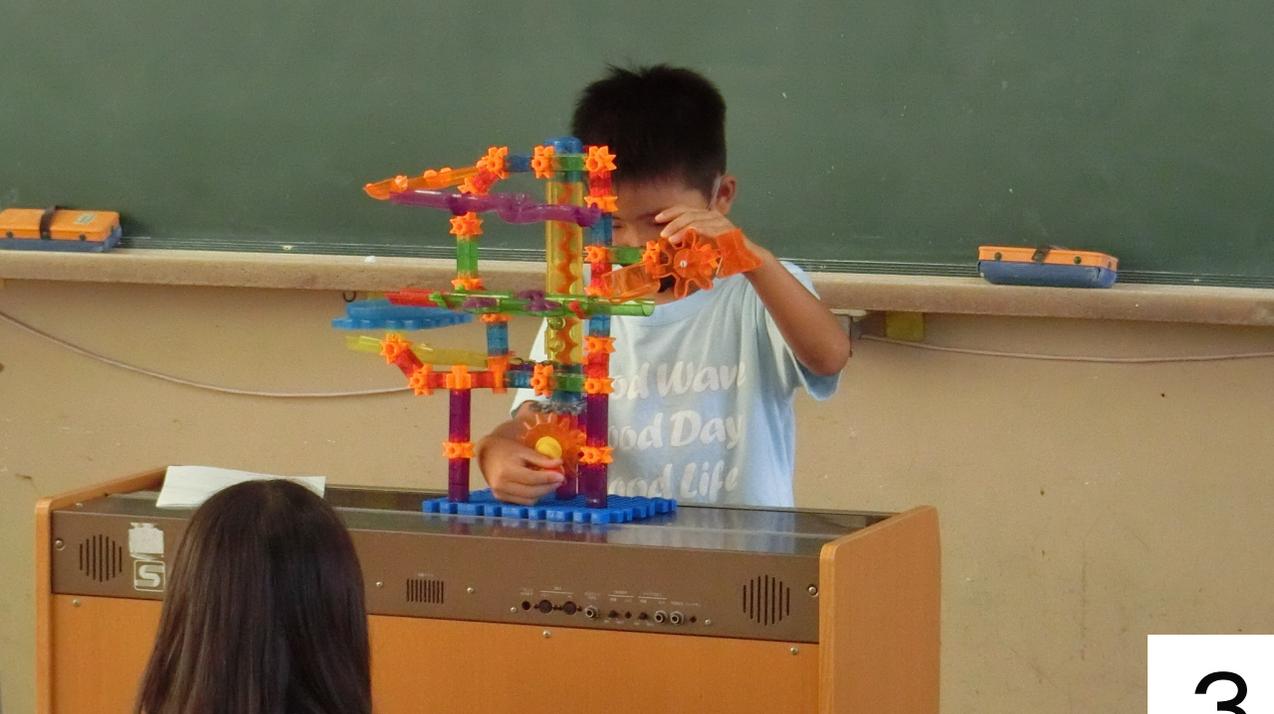
カラフルわらびもちをつくらう!

わらびもちの作りかた

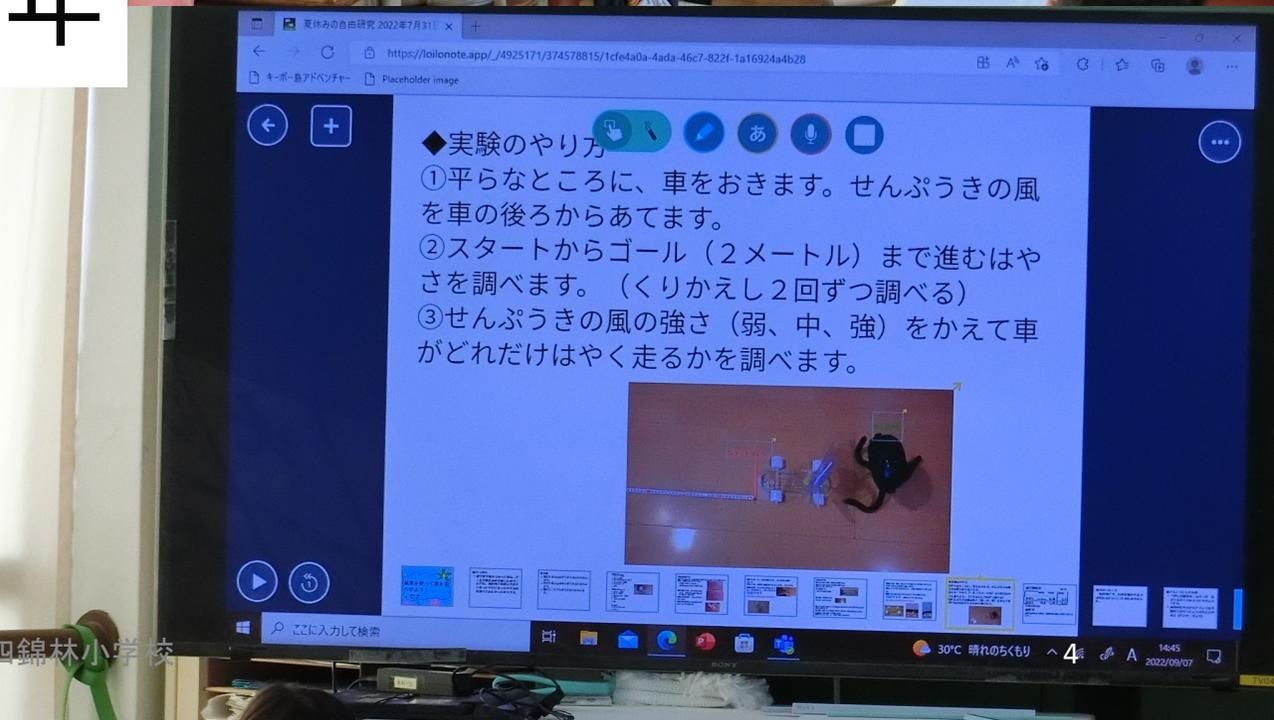
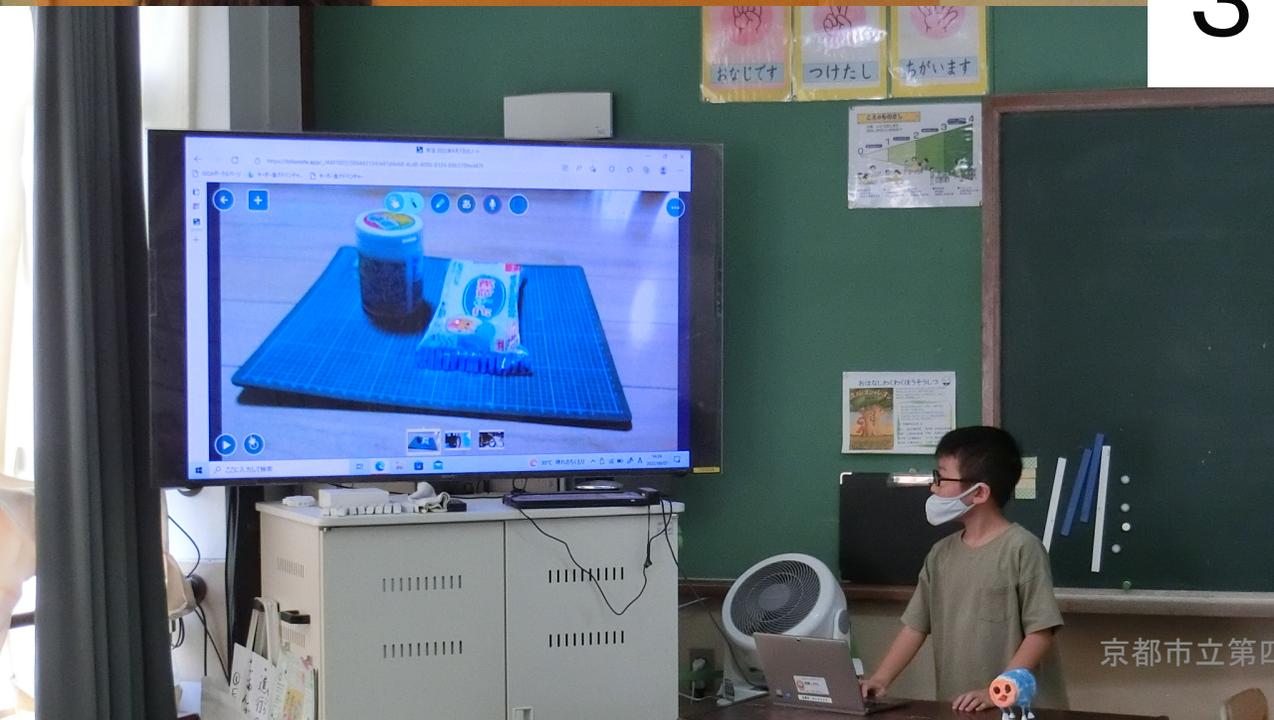
カラフルなわらびもちを作るには、カラフルな色料を使うことが大切です。

カラフルな色料は、カラフルなわらびもちを作るための大切な材料です。

カラフルな色料は、カラフルなわらびもちを作るための大切な材料です。



3年



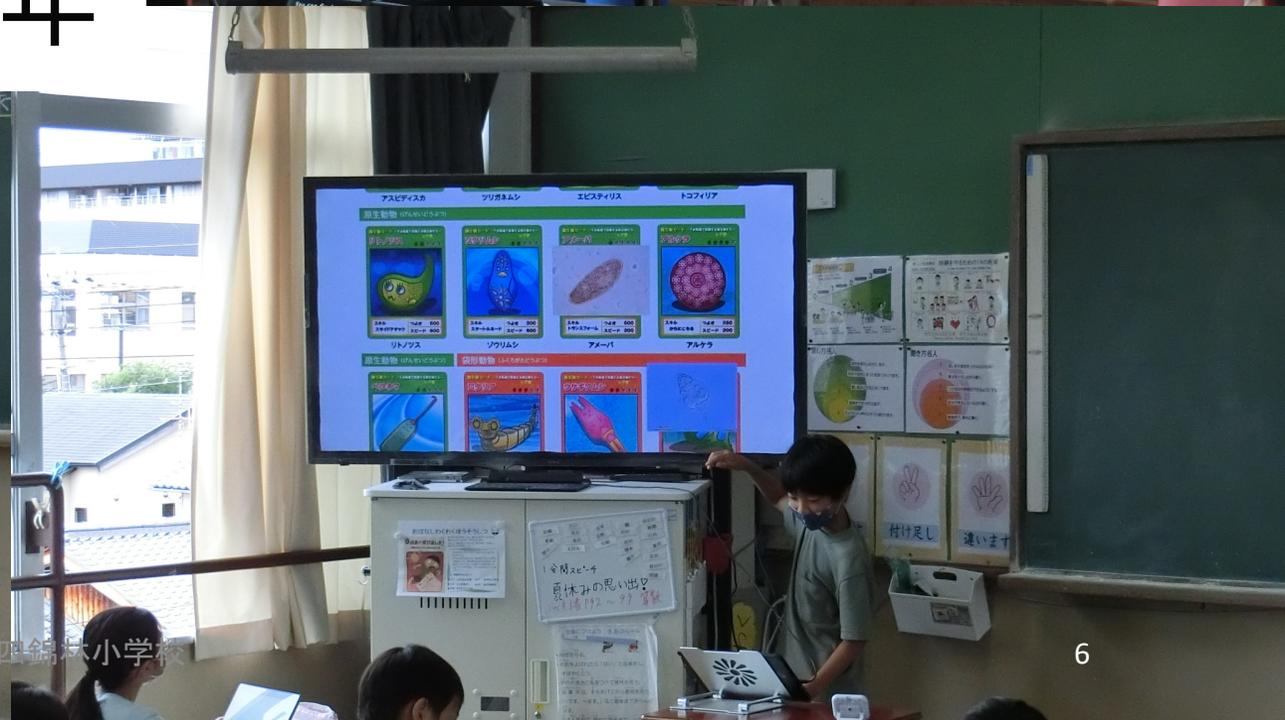


4年



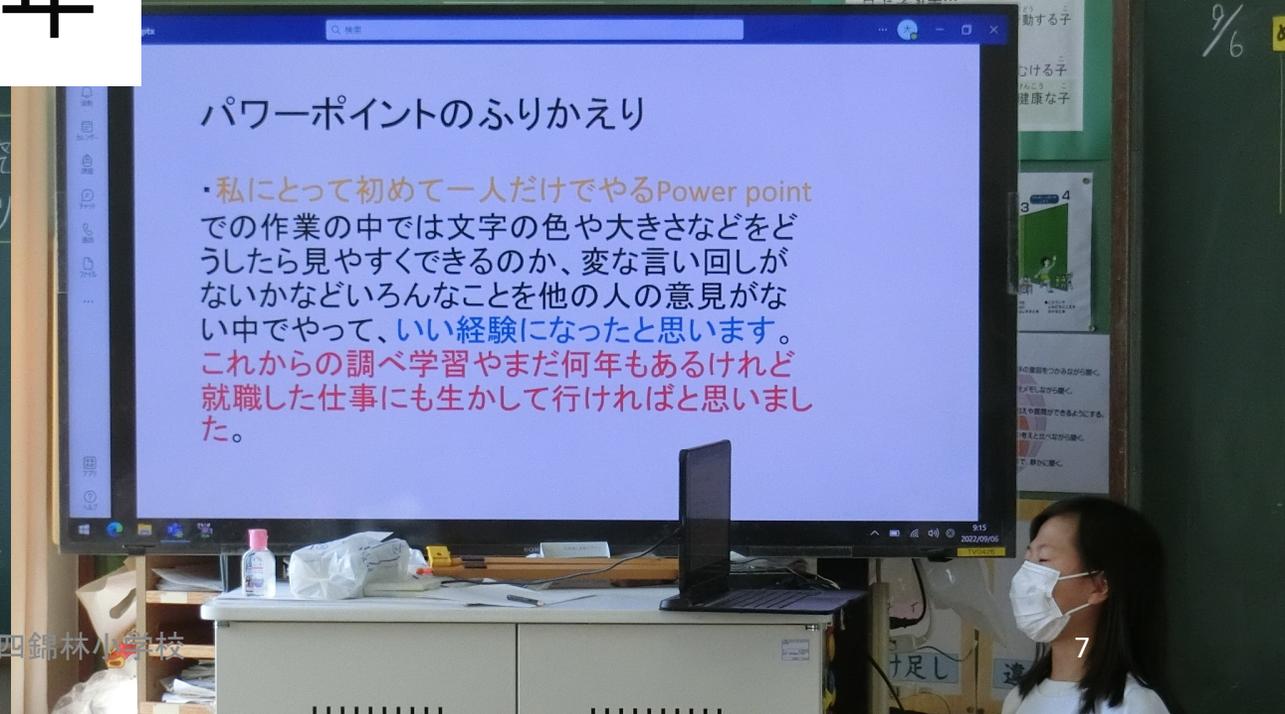
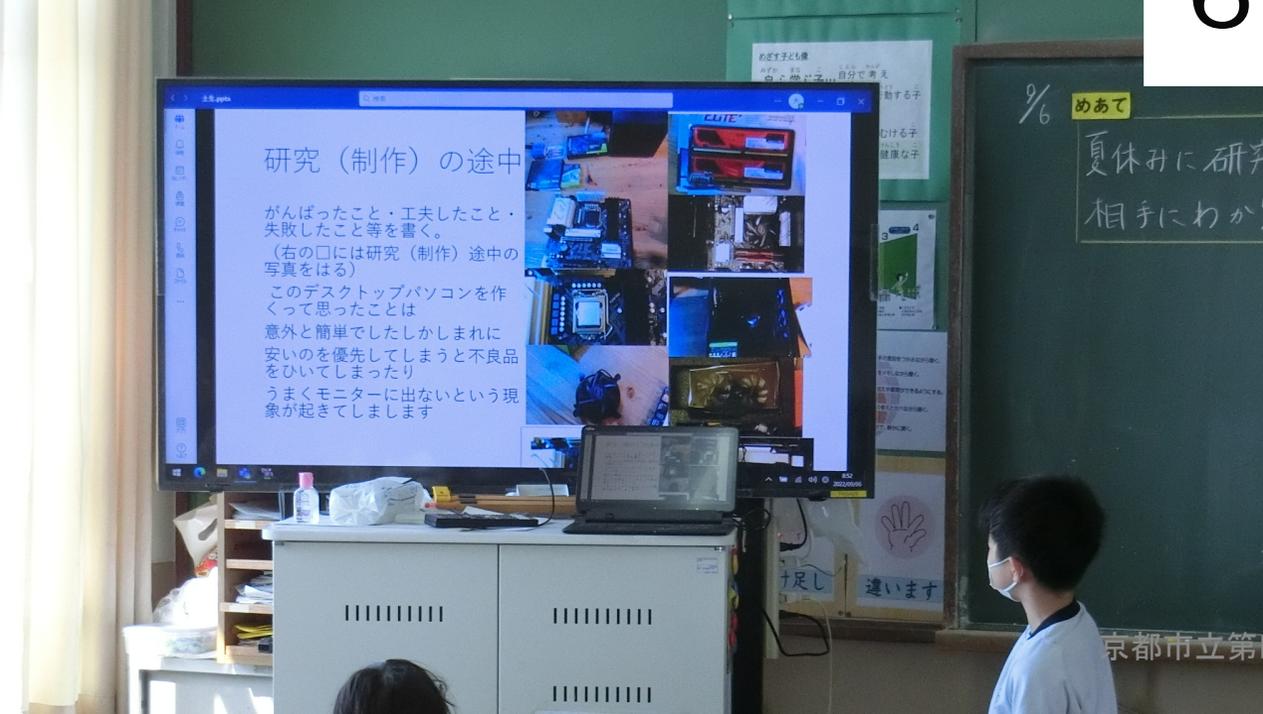


5年





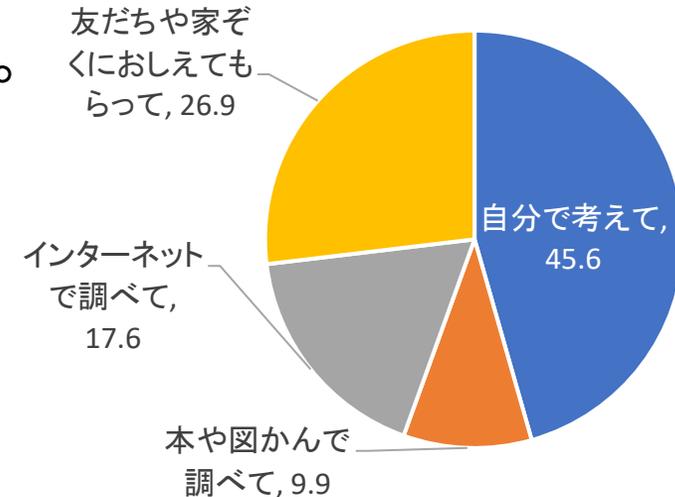
6年



1. 自由研究アンケートによる自己評価から

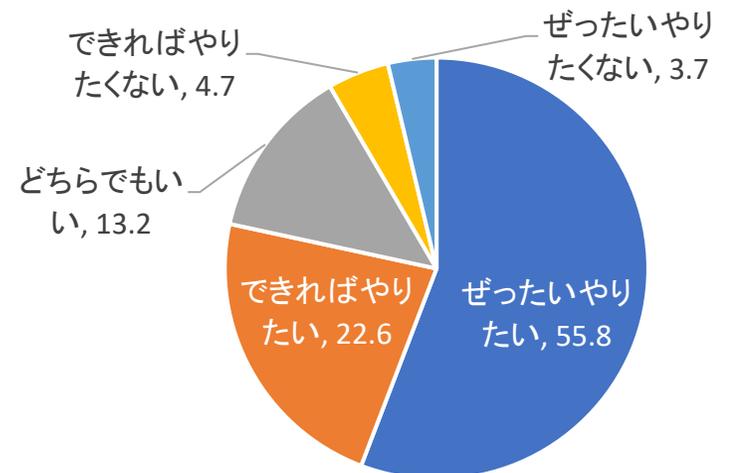
【5】自由研究の内容はどのようにして決めましたか。

- **自分で考えて** **45.6%**
- 本や図かんで調べて 9.9%
- インターネットで調べて 17.6%
- **友だちや家ぞくにおしえてもらって26.9%**



【9】これからも自由研究に取り組みたいですか。

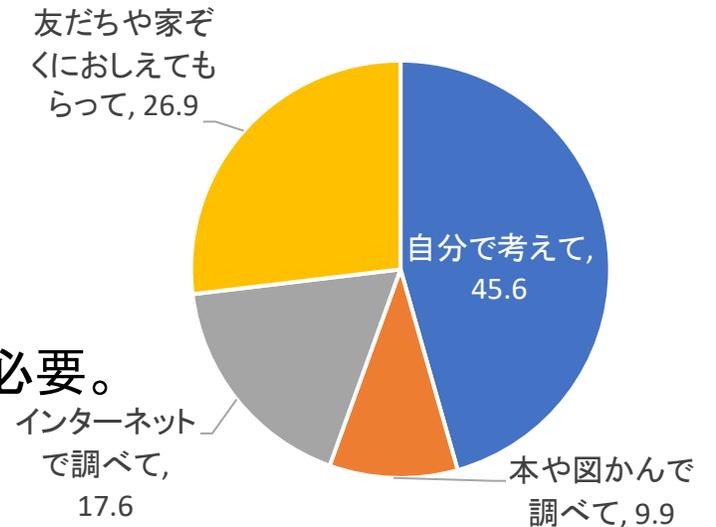
- **ぜったいやりたい** **55.8%**
- **できればやりたい** **22.6%**
- どちらでもいい 13.2%
- **できればやりたくない** **4.7%**
- **ぜったいやりたくない** **3.7%**



1. 自由研究アンケートによる自己評価から

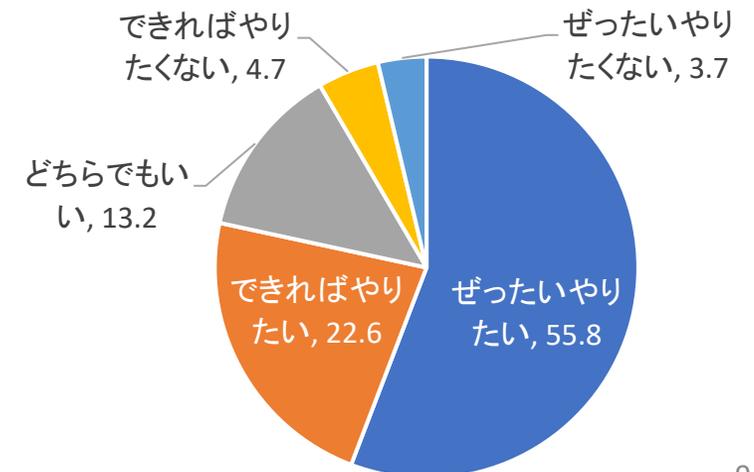
【5】自由研究の内容はどのようにして決めましたか。

- 全体で半数近くの子どもは、「自分で考えて」決めている。
- 「本や図かんで調べて」決める子は1割弱。
- 「インターネットで調べて」決める子は2割弱。
- 「友だちや家ぞくにおしえてもらって」決める子への支援が必要。



【9】これからも自由研究に取り組みたいですか。

- 自分で考えて取り組んだ学習は楽しく、次もやってみたいという意欲につながった。
- 「できればやりたくない」「ぜったいやりたくない」合わせて1割弱の児童への支援が必要。
- 年間通した指導と、自分でやり切ったという自己有用感を持たせる指導が重要。



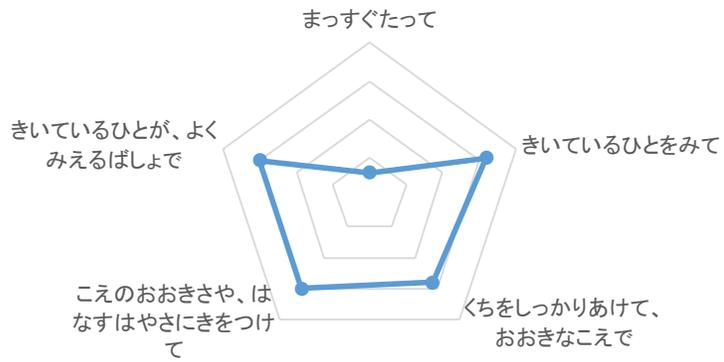
2. 相互評価による表現力における「話し方」「見せ方」の視点から

自由研究 すごいねシート評価規準

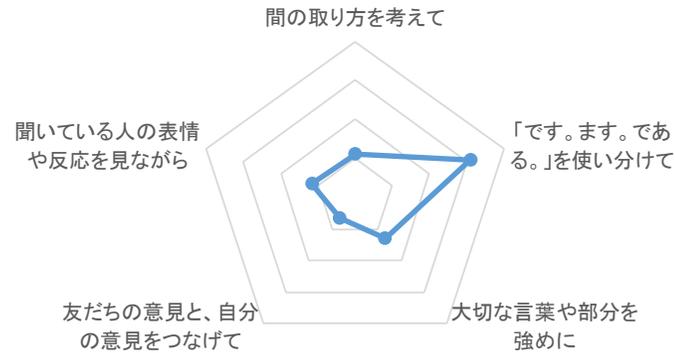
	要素	話し方	要素	見せ方
低学年	姿勢	まっすぐたって	対象	じつぶつをみせて
	姿勢	きいているひとをみて	対象	しゃしんや、しりょうをみせて
	姿勢	きいているひとが、よくみえるばしょで	対象	えんぎしたり、うごかしたりして(紙芝居、ペープサートなど)
	発声	くちをしっかりとあけて、おおきなこえで	動作	さししめして
	発声	こえのおおきさや、はなすはやさにきをつけて	動作	おおきくして
中学年	発声	間の取り方を考えて	動作	身ぶり手ぶりを入れて
	話形	「です。ます。である。」を使い分けて	動作	大事なところに印をつけて(丸やアンダーラインなど)
	話形	大切な言葉や部分を強めに	道具	大型テレビに部分や全体を映して(アップとルーズ)
	反応	友だちの意見と、自分の意見をつなげて	道具	I C Tを使って(パワーポイントやロイロノートなど)
高学年	反応	聞いている人の表情や反応を見ながら		
	話形	丁寧語や敬語など、相手や場に応じた言葉づかいで	動作	キーワードを書いたり見せたりして
	話形	事実と意見を区別して	道具	電子資料や実物などを効果的に用いて(動画も含む)
	反応	受け手の反応を確認しながら	道具	発表に合ったI C Tを選んで
	反応	その場で説明を付け加えて	道具	I C Tの機能を効果的に活用して(アニメーション、音声など)
	反応	問いかけをしながら		

発表の「話し方」(学年別)

発表の「話し方」1年



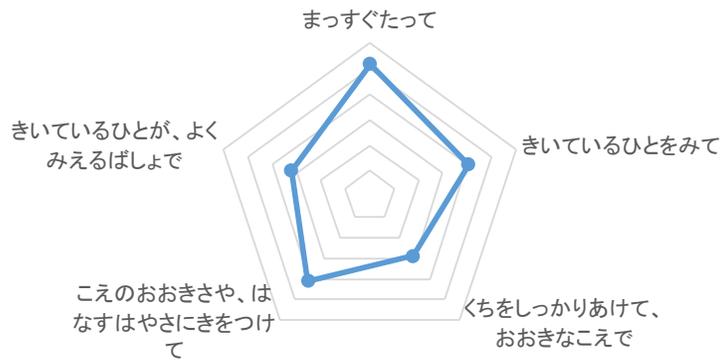
発表の「話し方(中)」3年



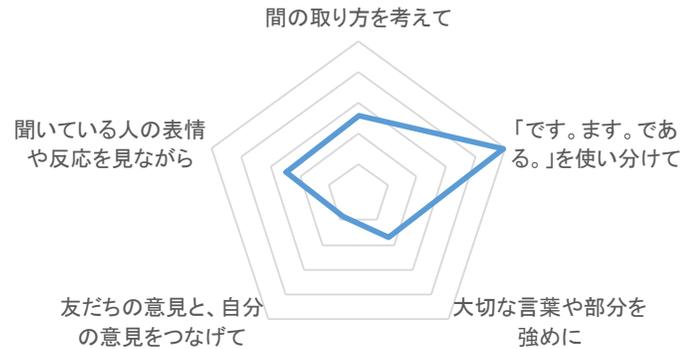
発表の「話し方(高)」5年



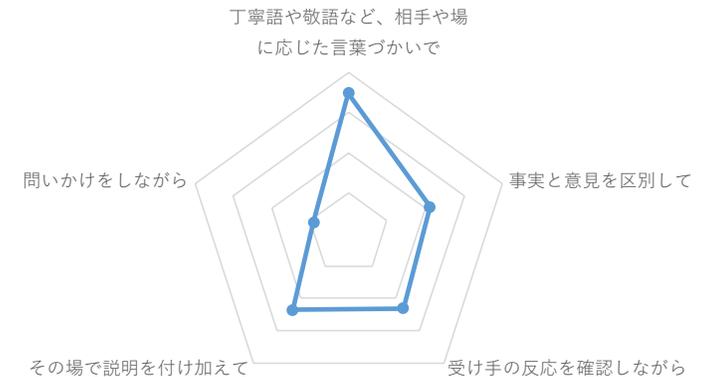
発表の「話し方」2年



発表の「話し方(中)」4年

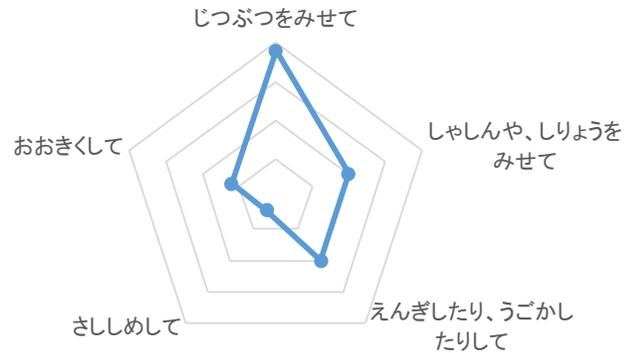


発表の「話し方(高)」6年

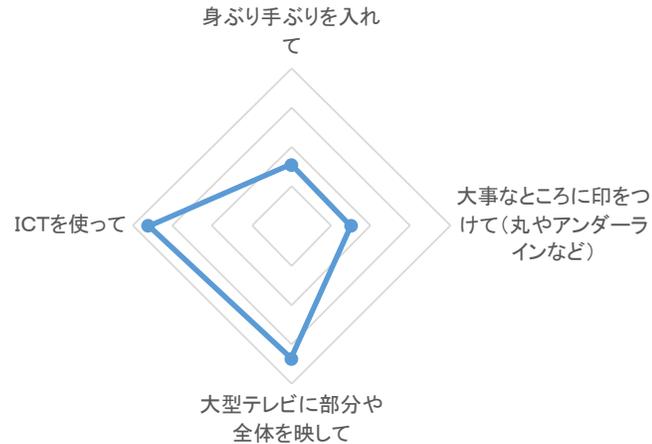


発表の「見せ方」 (学年別)

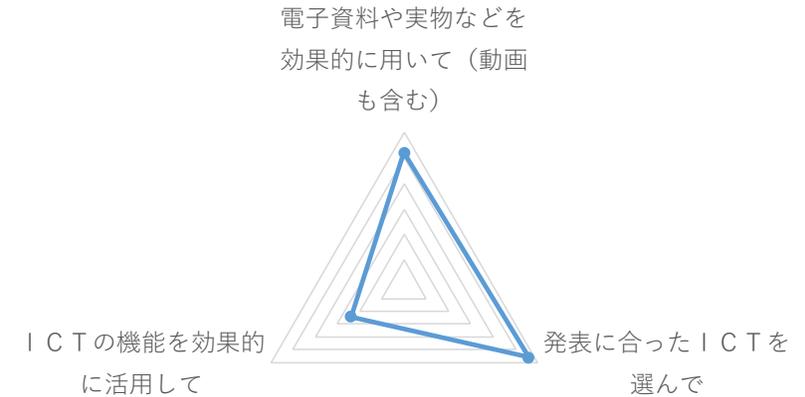
発表の「見せ方」1年



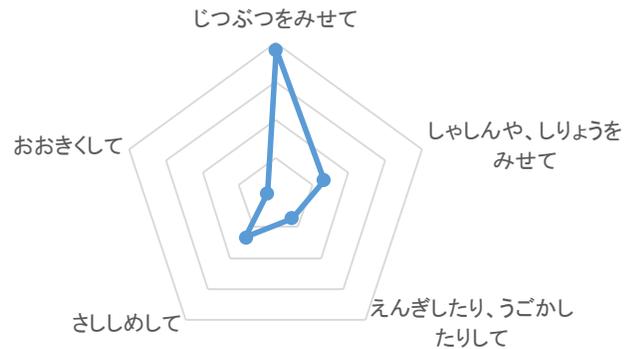
発表の「見せ方(中)」3年



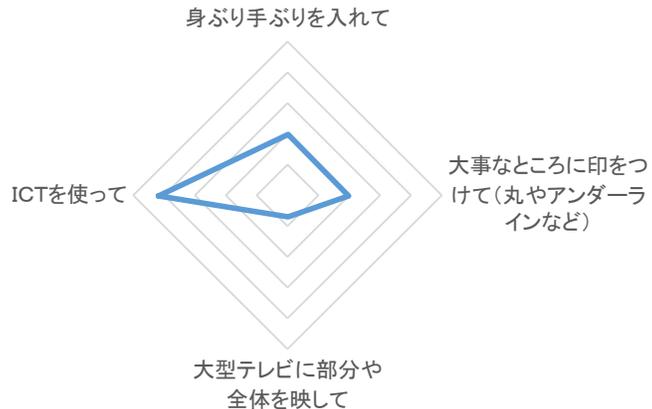
発表の「見せ方(高)」5年



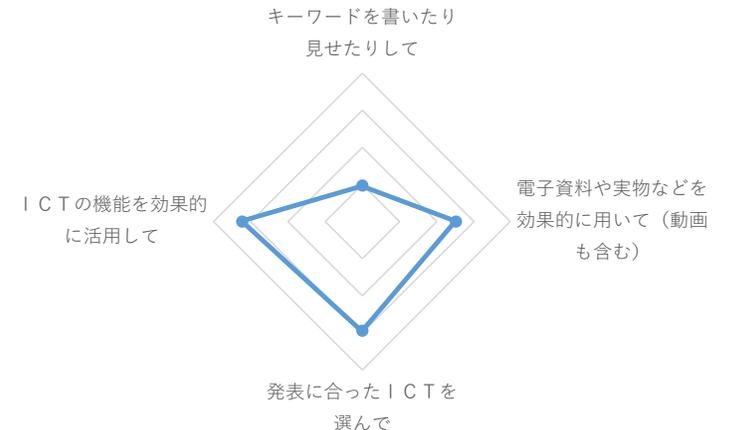
発表の「見せ方」2年



発表の「見せ方(中)」4年



発表の「見せ方(高)」6年



発表の「話し方」「見せ方」（全学年規準）

（成果）

- 「です。ます。」など丁寧な話し方は低学年から意識できている。
- 実物や大型TVなどを通して「見せて、話す」意識はできている。

（課題）

- 評価の観点ごとのばらつきは大きい。
- モデルとなる「話し方」「見せ方」を示す必要性。
- 評価の観点を決めて「話し方」「見せ方」の評価活動を増やしていく。
- 内容の評価に加え、方法の評価も重要。
- 聞き方の力も同時に高めていく必要がある。
- 「見せて、話す」に加えて、**理解を伴って「伝える」力の育成を。**